

47 回生 総合的な探究の時間「わがまちの SDG s」全体発表会

1 月 30 日(火)6・7 限、本校体育館において、総合的な探究の時間に半年間にわたって取り組んだ活動「わがまちの SDG s」の全体発表会を行いました。

この活動の目的は、①自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育成すること。②問題の解決や探究活動に主体的、創造的、共同的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考えることができるようにすること、としました。広い視野で社会に目を向けてほしいと考え、提言先を相生市だけでなく兵庫県や国にまで広げました。普段の授業では身につかない力を身につけるとともに、仲間と

協力して一つのプロジェクトを完成させる貴重な経験となることを期待して始めました。

準備段階として、プレゼンテーションの仕方についてプロの講師のレクチャーを受け、また、地元で SDG s に関する活動をされている 2 人の方に講演をしていただきました。

そして、SDG s の持続可能な 17 の目標の中から一つを生徒が選択し、それぞれのテーマに 4~5 名のグループを作り、毎週 1 時間と適宜ロングホームルームの時間を使って、約半



年間に渡る探究活動を行いました。

生徒は役割分担をして情報収集をし、効果的に伝えるため、パワーポイントでスライドを作成し、発表します。

年末までは各班で準備を重ね、1 月 23 日と 24 日にテーマ別発表(予選)、そこで選ばれた 5 つの班が全体発表をしました。西播磨県民局県民交流室室長の喜多和美様、講演をしていただいた相生湾自然再生学習会議の松村晋策様、相生(おお)の港町を持続させる会の渡部政弘氏を来賓に招き助言、講評をいただきました。

クラスの枠を超えた班編成により、話をしたことがないもの同士がコミュニケーションをとることから始まったこの活動、最初、生徒の中には不安を感じるものもありましたが、重ねることにより次第に打ち解け、仲間意識が生まれてきましたようです。自由にアイデアを出し合い、よりよい発表になるように知恵を絞り、話し合いを重ねました。そして本番。学年全員と来賓の前での発表など緊張を強いられる経験することによって、他の経験では得られない自信を身につけられたのではないかと思います。



司会進行も生徒が行い、生徒主体の発表会となりました。協力していただいた方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

